

町田市民病院

クォーターリー

vol.38
2018年 夏号



病院機能評価の認定を
更新しました。



トピックス

- 新経営陣のご紹介
- 診療科紹介：歯科・歯科口腔外科
- 新任医師紹介
- 数字で見る町田市民病院

<http://machida-city-hospital-tokyo.jp/>

新経営陣のご紹介

新しい経営陣とともに 基本理念の実現を目指します

町田市病院事業管理者(兼)町田市民病院院長
近藤 直 弥



2009年から私と一緒に病院経営に携わってきた4名の副院長のうち2名が、今年3月までに定年を迎えて退職しました。

そこで、今年4月に若い世代の副院長2名を経営陣に加え、新たに4名の副院長体制をとることにしました。新しく副院長に就任した和泉元喜消化器内科部長と古屋優脳神経外科部長は、自ら診療現場の先頭に立って積極的に入院患者を受け入れ、また、若い医師の指導にも熱心に取り組んでいます。

4名の副院長は役割を分担しています。和泉副院長は診療部門を統括し、病院機能評価委員会の委員長として、当院の医療の質の改善と維持に取り組んでもらい、古屋副院長には救急医療と災害医療の分野を担当してもらいます。金崎副院長は、引き続き医療安全と地域連携という当院にとって重要な領域を担当します。櫻本副院長には、これまでどおり手術室長として手術の円滑な運営を図ってもらい、新たに研修管理委員長として初期研修医の指導責任者を務めてもらいます。

これから新しい経営陣とともに、当院の基本理念とする「地域から必要とされ、信頼、満足される病院」を目指して努力してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

基本理念

地域から必要とされ、信頼、満足される病院

基本方針

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療
患者の人権を尊重し、患者と共に創り出す医療を目指します。 2. 安全な医療
医の倫理を守り、安全に配慮した医療を行います。 | <ol style="list-style-type: none"> 3. 良質な医療
科学的根拠に基づいて、チームとして医療を行います。 4. 地域と連携した医療
地域の医療機関との役割分担と連携を進めます。 5. 地域への貢献
教育、研修活動を通じて、市民の健康増進に努めます。 6. 健全な経営
自治体病院の公共性を担いつつ、健全で効率的な病院経営を目指します。 |
|---|--|



地域連携体制の構築に向けて

副院長(兼)内科部長 金崎 章

当院は、数年前では考えられなかった紹介率・逆紹介率を得ることで、今年度地域医療支援病院の承認を申請することになりました。これも、地域の医療機関の方々とかかりつけ医を持つことにご理解いただいている患者さんのご協力によるものと感謝しており、御礼を申し上げます。

今後当院は、地域医療における機能分担、役割をしっかりと意識し、地域包括ケアシステムに基づいた連携を構築していきます。そして、地域医療連携室、入退院調整看護師を中心に、院内の連携強化を行い、連携医をはじめとする地域の医療関係者や患者さんに満足いただける地域連携体制を構築していきます。

また、医療安全についても重要な課題として取り組んでいます。この度の診療報酬改定からも見えるように、今後はさらなる安全性の向上と、地域の医療機関同士での情報の共有が求められています。これからも、安全で良質な医療の提供ができるように努力していきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

麻酔科医による入院前の外来診察で手術を安全に

副院長(兼)麻酔科部長 櫻本 千恵子

2009年に救急担当副院長に就任し、当院が町田市の二次救急医療機関としての役割を果たせるよう努めて参りました。今年度からは執行部が新体制となり、手術室・教育部門を担当することとなりました。

当院には手術室が8室あり、外科系11科の手術が行われています。毎年手術件数は増加しており、2017年度は4,722件と過去最高の手術件数となりました。

また、麻酔科医が入院前に外来で診察と麻酔の説明を行い、術前・術後の管理を強化することにより、ご高齢で合併症をお持ちの患者さんでも長時間の手術を安全に受けることができるようになってきました。今後も引き続き、市民の皆さんがいつでも安心して、少しでも負担を少なく手術が受けられるような体制を維持していきたいと思ひます。

また、初期研修医が生涯医師として働いていくにあたって基礎となる実力を身につけ、人のために働くことに喜びとやりがいを感じられる医師になれるよう、有意義な研修ができる環境を提供したいと思ひます。



医療の質の向上のために

副院長(兼)消化器内科部長 和泉 元喜

私は1992年3月に東京慈恵会医科大学を卒業し、2001年7月から当院に勤務しております。内科医、特に消化器領域の医師として診療に携わってまいりました。本年4月からは副院長に就任し、病院経営に参画するとともに、診療を中心とした病院機能全般の改善を担当しております。

私が当院に勤務し始めた頃は、院内で発生した問題点や課題は院内のみでの検討により改善がなされ、その方向性が正しいのか不明確でした。2008年からは第三者機関による審査「病院機能評価」を受け、“病院としての機能が適切であるか”確認しながら改善を行っております。審査に合格するためには、医療安全や感染対策、教育・研修、診療・ケアの質など、病院に求められる事項が一定の水準に到達する必要があります。認定病院は、地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく日常的に努力している病院とされています。定期的な認定更新があり、この春、3回目の認定を受けました。現状に満足せず、病院職員が一丸となり医療の質の向上のために努力してまいります。

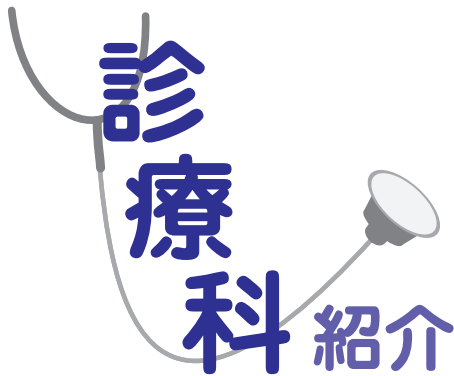
救急医療レベルの維持、発展に向けて

副院長(兼)脳神経外科部長 古屋 優

2018年度から新しく副院長の職を拝命しました。診療に加え、微力ながら病院運営にも尽力させていただきたいと存じます。今回副院長に任命された際、病院の救急医療、および災害医療を担当するようお話がありました。これまで脳神経外科医として町田市民病院の神経救急に携わっており、院内の救急委員会で委員長を担当していた経緯からの任命と考えています。当院は市内唯一の公立病院であり、二次救急医療を担当する病院として救急医療は病院存続の根幹です。年々変化する医療環境に柔軟に対応し、現在の救急医療レベルを維持、発展させていくことが与えられた役割と考え、それに向け邁進していきたいと思ひます。

また、当院は災害拠点病院に指定され、災害時には特に重傷者を受け入れる医療機関として位置づけられています。最近、大規模震災の発生が懸念されており、有事の際、中核病院として迅速に、滞りなく医療の提供が行えるように日頃から医師会と対応の協議、災害訓練などを行い、準備を怠らないように心がけていきたいと考えています。





歯科・歯科口腔外科

当院の患者さん、さらには連携を結んでいる医療機関からのご紹介を通して、地域全体の口腔の健康に貢献できるよう、安心・安全な医療の実践に取り組んでいます。

● 歯科口腔外科の診療

当科は顎口腔領域における様々な疾患を診断・治療しています。救急治療も行っており、口腔顎顔面外傷や急性歯性感染症等の急患対応を24時間体制（夜間は火・木・金・土のみ）で受け付けています。また、日本歯科大学歯科麻酔全身管理科との連携により、障がいをお持ちの方や、歯科恐怖症の方、嘔吐反射の強い方への全身麻酔、静脈麻酔下での歯科治療を行っています。

< 当科で扱う代表的疾患 >

● 口腔外科一般（埋伏歯^{まいふくし}や智歯^{ちし}周囲炎、ハイリスク有病者の観血的処置、インプラント治療など）

抜歯などの小手術、重篤な感染症への対応、全身的な疾患を有するハイリスクな患者さんへの観血的処置（出血を伴う外科的処置）などを行っています。また、インプラントについても、全身的な疾患を有する患者さんや顎骨の不足している難症例に対する骨移植を併用した治療など、複数の診療科を備えていることを活かした治療が可能です。

● 腫瘍性疾患（良性・悪性）・嚢胞性疾患

顎口腔領域には様々な腫瘍・嚢胞ができます。これらは、良性だけでなく悪性のものもあるため注意が必要です。検査診断を行い、必要に応じて耳鼻咽喉科、放射線科、形成外科など関連各科と連携して集学的な治療（各種治療の組み合わせ）を行います。

● 顎関節疾患

顎が痛い、口が開かないなど顎関節に関連した症状の多くは顎関節症が原因です。当科ではMRI、CTなどによる画像診断のもと、スプリント（マウスピース）による保存的な治療だけでなく、パンピング（顎関節に注射し、関節円板がスムーズに動くようにする）などの外科的治療法にも対応しています。

● 顎顔面外傷

転倒などにより顔面を強打すると、歯が折れたり唇などの周囲の軟組織が損傷するだけでなく、上下の顎骨が折れることもあります。当科では、これらの状態に外科的手術も含めて迅速に対応しています。

2017 年度診療実績

延入院患者数	1,307人
外来患者数	20,022人
紹介率	65%
手術件数	199件

歯科医師

常勤医2名、非常勤医6名、研修医1名、その他応援医師6名で、外来・手術・入院に対応しています。



● 口腔粘膜疾患

口内炎、扁平苔癬、白板症や天疱瘡など様々な口腔粘膜疾患が生じますが、これらは全身的な病気の一症状であったり、がんへ移行しやすい状態であったりするため注意が必要です。当科では皮膚科などの関連各科と連携し、外科的治療や薬物療法などの治療を行います。

● 周術期等口腔機能管理について

周術期等口腔機能管理とは、がん等の全身麻酔による手術や化学療法・放射線療法等を受ける患者さんのお口の状態を清潔に保つよう口腔管理を行うことです。全身麻酔による手術を受ける患者さんは、お口から気管チューブを挿入して麻酔を行いますので、手術前の口腔管理が重要となります。お口の中の衛生状態が悪いと、口腔内の細菌がチューブ挿入時に肺にまわり、術後肺炎や全身性感染症等のリスクが高まるためです。また、この手術前の歯科診察は気管チューブの挿入時にお

ける歯の脱落や破折を防ぐ目的もあります。

化学療法・放射線療法を受ける患者さんに多い副作用は口腔粘膜炎症です。発症してしまうと痛みや味覚異常、口腔乾燥が伴い、食事が困難になることがあります。これは口腔管理で軽減できます。

当科では、他科主治医からの依頼により患者さんのお口のトラブルを未然に防ぎ、治療を円滑に進めるためのサポートをしています。

なお、お口の症状が落ち着いた患者さんは日頃かかりつけの歯科での診察をお願いしておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

対象となる手術・治療

全身麻酔による手術

- 頭頸部領域、呼吸器領域、消化器領域等の悪性腫瘍の手術
- 心臓血管外科手術 ● 臓器移植手術
- 人工股関節置換術等の整形外科手術
- 造血幹細胞移植 ● 脳卒中に対する手術

化学療法、放射線療法等の治療

歯科衛生士の役割

健康で生き生きとした生活を送る上で、重要な役割を担っている部位である歯・口腔の健康を歯科医師と共にサポートしていく専門職が歯科衛生士です。

歯科衛生士は主に、虫歯や歯周病の予防、口腔衛生指導、診療補助などを行っています。初診患者さんには「歯科」という単語を見たり聞いたりするだけで、怖い、不安、苦手などの先入観を持たれる方が多く、歯科診療室独特の音や匂いも体を委縮させる要素となります。その様な患者さんの苦痛を少しでも軽減できるように、メンタル面のケアも含めて支援しています。その他、母親学級、糖尿病教室、院内他科から依頼された入院患者さんへの往診口腔ケアや、患者家族への口腔ケ

ア指導、周術期の口腔ケアなども行っています。

この様に、歯科衛生士の業務は多種多様ですが、それぞれの患者さんが、安心して治療を受けられるような環境づくりを心がけています。今後も歯科医師や当科以外の他職種のスタッフとも連携を取りながら、より高度な専門性を有した歯科衛生士として貢献していきたいと思っております。



歯科衛生士（常勤2名、非常勤2名）

新任医師紹介

新しく仲間になりました常勤医師をご紹介します。
これからどうぞよろしくお願いたします。



- ①出身大学・卒年
- ②趣味
- ③メッセージ



消化器内科
神岡 洋
(かみおか ひろし)

- ①東京慈恵会医科大
2014年卒
- ②料理、音楽
- ③まだ新米ですが精一杯や
らせていただきます。



消化器内科
齋藤 恵介
(さいとう けいすけ)

- ①東京慈恵会医科大
2007年卒
- ②料理、釣り
- ③町田市の医療に貢献でき
るよう尽力して参ります。



消化器内科
鹿野 智裕
(かの ともひろ)

- ①東京慈恵会医科大
2013年卒
- ②旅行、ラグビー
- ③安心、信頼して医療を受
けていただけるよう日々
努力します。



消化器内科
嶋田 真梨子
(しまだ まりこ)

- ①東京慈恵会医科大
2014年卒
- ②美術鑑賞
- ③町田市に貢献できるよ
う頑張ります。宜しくお願
い致します。



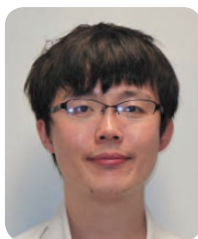
消化器内科
藤井 梨絵
(ふじい りえ)

- ①横浜市立大
2016年卒
- ②旅行
- ③町田市民の皆様のお力に
なれるよう、精一杯努力
いたします。



循環器内科
三谷 優太郎
(みたに ゆうたろう)

- ①北里大
2015年卒
- ②スポーツ観戦
- ③若輩者ではございますが、
皆様のお役に立てるよう
がんばります。



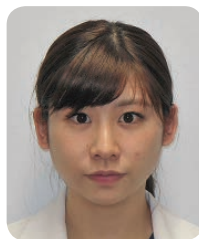
糖尿病・内分泌内科
西村 在景
(にしむら あきひろ)

- ①秋田大
2014年卒
- ②外食巡り
- ③頑張りますので、何卒よ
ろしくお願いたします。



腎臓内科
阿部 哲也
(あべ てつや)

- ①北里大
2013年卒
- ②旅行
- ③患者様に寄りそった医療
を提供します。



腎臓内科
西山 景子
(にしやま けいこ)

- ①北里大
2015年卒
- ②ドラマ鑑賞
- ③患者様に寄り添った医療
が出来るよう頑張ります。



外科
中嶋 俊介
(なかじま しゅんすけ)

- ①東京慈恵会医科大
2016年卒
- ②バスケットボール
- ③患者様によりよい医療を
提供できるよう精一杯頑
張ります。



心臓血管外科 担当部長
八丸 剛
(はちまる つよし)

- ①東京医科歯科大
2000年卒
- ②野球
- ③地域医療に貢献できるよ
う頑張りたいと思います。



心臓血管外科
櫻井 啓暢
(さくらい ひろのぶ)

- ①東京医科歯科大
2013年卒
- ②旅
- ③町田市の医療に貢献でき
るよう日々努力していき
たいと思います。



整形外科
横関 雄司
(よこせき ゆうじ)

- ①北里大
2016年卒
- ②旅行
- ③町田市に貢献できるよ
う努めて参ります。よろし
くお願いたします。



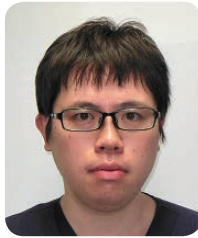
脳神経外科
佐瀬 泰玄
(させ たいげん)

- ①聖マリアンナ医科大
2011年卒
- ②読書
- ③よろしくお願致します。



脳神経内科
佐々木 梨衣
(ささき りえ)

- ①聖マリアンナ医科大
2012年卒
- ②読書
- ③町田市の医療に貢献でき
るようがんばります。



精神科
鮫島 大輔
(さめしま だいすけ)

- ①東京慈恵会医科大
2015年卒
- ②スポーツ観戦
- ③町田市の医療を支えられ
るようがんばります。



小児科
廣中 優
(ひろなか ゆう)

- ①東京慈恵会医科大
2016年卒
- ②映画鑑賞
- ③地域の子供達が元気一杯
に暮らせるお手伝いをし
たいと思います。



産婦人科
鶴本 大作
(つるもと だいさく)

- ①東邦大
2014年卒
- ②運動
- ③皆様に安心・安全なお産
を提供致します。



耳鼻咽喉科
中川 貴仁
(なかかわ たかひと)

- ①北里大
2008年卒
- ②車、ゴルフ
- ③どうぞ宜しくお願致し
ます。



放射線科
齋藤 祐貴
(さいとう ゆうき)

- ①聖マリアンナ医科大
2010年卒
- ②カラオケ、雑貨屋巡り
- ③画像診断を通じて地域の
皆様のお役に立てるよ
う努めて参ります。

数字で見る町田市民病院

■2017年度決算の概要

当院では、「町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）」に基づき、病院経営の健全化、効率化を推進しています。

2017年度は、ご高齢の患者さんが当院での急性期の治療を終了した後、安心して住み慣れた地域で療養生活を送れるよう、看護師4名と社会福祉士1名の計5名からなる退院支援調整職員（vol.34にて紹介）を配置し、入院早期から退院に向けた支援を強化しました。また、地域医療機関との役割分担の明確化や関係強化のため、連携医制度を開始し、2018年3月末時点で連携医療機関数は“164”となりました。

2017年度の延患者数、料金収益は、常勤の呼吸器内科医の不在などにより、前年度に比べて

入院、外来ともに減少しました。（表1）

事業収支について、料金収益を主とする医業収益は前年度比3.3%減少し、113億8,424万円となりました。対する医業費用のうち、給与費は給与改定による期末勤勉手当の増加等により1.6%増加、材料費はジェネリック薬品への切り替えや院外処方の推進等により6.9%減少し、医業費用全体では0.1%増加し、128億3,775万円となりました。その結果、収益から費用を引いた純損益は7.0億円の赤字となりました。（表2）

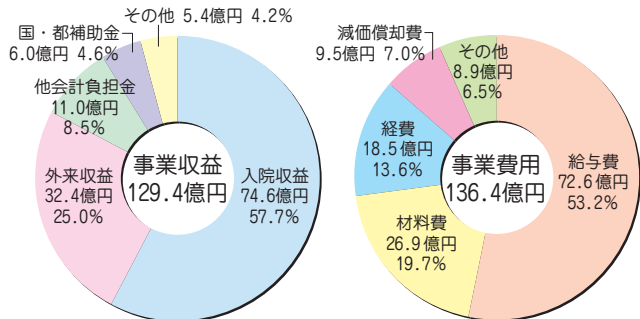
今後も連携医やかかりつけ医との地域連携を強化し、入院治療を必要とする重症患者の医療を担当する二次医療機関の役割を果たし、医療の充実、経営改善に取り組んでまいります。

●利用状況と料金収益（表1）

延患者数	2017年度	2016年度	比較
入院	128,914人	132,207人	▲3,293人
外来	281,386人	299,773人	▲18,387人

料金収益	2017年度	2016年度	比較
入院	74億5,702万円	75億8,290万円	▲1億2,588万円
外来	32億3,949万円	35億3,243万円	▲2億9,294万円

●病院事業収支（表2）



常勤となった医師の紹介

非常勤として診療しておりました医師2名が4月から常勤になりましたのでご紹介します。これからも引き続きよろしくお願いたします。



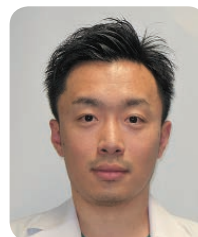
- ①出身大学・卒年
- ②趣味
- ③メッセージ



糖尿病・内分泌内科

藤井 朋子
(ふじい ともこ)

- ①山梨医科大学
2001年卒
- ②読書、音楽を聴くこと
- ③一日一日、頑張ります。
よろしくお願いたします。



歯科口腔外科

城代 英俊
(じょうだい ひでとし)

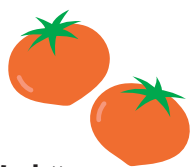
- ①明海大
2011年卒
- ②釣り・サーフィン
- ③人の心に寄り添った医療
を心がけています。

つくって元気！ 楽笑レシピ

なすのドライカレー★
～生のトマトでさっぱりと～
野菜たっぷり。1日に必要な野菜量の半分が食べられます！

材料（4人分）	
◎なす	4本(370g)
◎ピーマン	2個(120g)
◎合い挽き肉	200g
◎にんにく(みじん切り)	1かけ(5g)
◎しょうが(みじん切り)	1かけ(5g)
◎サラダ油	大さじ2(24g)
A：カレー粉大さじ1(6g)、しょうゆ大さじ1/2(9g)、ウスターソース大さじ1/2(9g)、塩小さじ1/2(2.5g)、砂糖小さじ1/4(0.8g)、ローリエ1枚	
◎トマト(完熟)	2個(250g)
◎ご飯(1人前)	180g

1人分 540kcal・蛋白質16g、塩分1.3g
町田市民病院 栄養科：小木



《作り方》

- ①なすは皮をむき、粗みじん切りにし塩水に浸す。ピーマンも種を取り粗みじん切りにする。
- ②サラダ油、にんにく、しょうがを中火にかけ、香りがたったらピーマンと挽き肉を加える。肉の色が変わったらなすを加え、くたとなるまで炒める。
- ③Aの調味料を加えて10分ほど炒め、汁気がなくなったら火を止め、ローリエを取り除く。
- ④トマトは皮をむき1cm角に切る。ご飯とカレーを盛り、上にトマトを散らす。



ワンポイントアドバイス

- なすには体を冷やす効果があります。のぼせを防いでくれて、夏バテ防止になります。
- なすに豊富なアントシアニンは皮に多く含まれます。ドライカレーでは皮を使いませんが、捨てずに、炒めてキンピラにしたり、ゆでてお浸しにしたりして食べてください。抗酸化作用や血栓予防、目の疲労改善の効果があります。



地域医療支援病院の承認申請と選定療養費改定について

町田市民病院は、6月に東京都へ地域医療支援病院の申請を行いました。

地域医療支援病院とは

地域医療の第一線を担う診療所（かかりつけ医）を後方支援するのが主な役割です。医療機関間の役割分担や連携を推進し、住民に地域医療を効率的に提供できる体制の構築を図る、都道府県知事から承認された病院です。

選定療養費を改定します

現在当院では、かかりつけ医からの紹介患者を優先し、紹介状をお持ちでない場合は「選定療養費」をいただいています。

地域医療支援病院に指定されると、病床数400床以上の病院は選定療養費を国の基準で定められた金額以上とすることが義務付けられており、当院でも選定療養費を右表のとおり変更する予定です。

改定時期や詳細は、決まり次第院内掲示やホームページ等でお知らせします。当院を受診される際は、紹介状をご持参ください。

		改定前	改定後
初診にかかる 選定療養費 ※1	医科	2,700円	5,400円
	歯科	2,700円	3,240円
再診にかかる 選定療養費 ※2	医科	—	2,700円
	歯科	—	1,620円

※1 他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合

※2 当院から他の医療機関を紹介された後に、再度当院を受診された場合

(税込)



編集・発行：町田市民病院
〒194-0023 東京都町田市旭町2-15-41
TEL：042-722-2230（代）
<http://machida-city-hospital-tokyo.jp/>